

会長挨拶

会長 木村智昭

皆様こんにちは。今日は三内丸山遺跡の話を見せて頂きます。

昨年、青森の三内丸山遺跡を見に行ってきました。三内丸山は、今から五千五百年から四千年前の縄文時代に千五百年間も300人から500人が集落で生活していたということで、従来の定説を覆す発見でした。遺跡は青森湾から標高20メートルという位置にあり、約12万坪と広大な範囲に広がっています。日本への金属技術の伝来は、二千百年ぐらい前ですから、当然 鉄も銅も無い遙か昔の事です。私は鋳物屋ですので、金属の無い時の生活はどんなものか、興味があったのです。

生活の道具としては、土器と石と骨とかが主なもので、土器で煮ることはできた様です。当然、米は無く、主食は粟で、集落の周りに粟の木を植えて、秋に収穫し保存して食べていた様です。私が最も驚いたのが、この遺跡から600kmも離れた長野県の黒曜石が発見されたことでした。長野県の黒曜石は、非常に鋭い刃を作るのに最も適した石です。たとえば、石に穴を開けて投網用の錘を作るとか、魚の骨に穴を開けて、釣り針を作るとかに使われたと思います。展示品の中にそれらの物がありました。確かに硬いものに穴を開ける必要性は昔からあったのでしょうか。鋳物も中子と言う砂型を使って穴を開けた事が大きな特徴で用途が広がったのですから。

五千年も前に600kmもの遠くから、どうして黒曜石という情報を得て、どう交通手段で手に入れたのか、想像すらできませんでした。又、まったく実用的でない石の翡翠も発見されています。これは、新潟県の糸魚川でしか採石できない石で、古代より玉として珍重されたものです。いずれにしても、何らかの交易手段があったとしか考えられません。千年近い時間の中で可能になったのかもしれない。三内丸山遺跡については未だ解らない事が沢山在るそうです。とにかく五千年前を思い描いて、想像力を働かせる事は、非常に楽しかった旅でした。



インスピレーションになろう

2018-2019年度 国際ロータリー会長

バリ・ラシン氏 テーマ

「インスピレーションになろう」



RI 第2620地区 静岡第3分区

沼津北 ロータリークラブ

テーマ

「魅力あるクラブをめざして」

WEEKLY
BULLETIN NO. 18<http://NNRC.e47.jp/>

会長 木村 智昭 幹事 大貫 隆弘

事務所 〒410-0801 沼津市大手町1-2-1
フォーラム壹番館4F
TEL.055-963-1960 FAX.055-963-1970
E-mail:numazu-n-rc@coffee.ocn.ne.jp

例会場 〒410-0802 沼津市上土町100-1
沼津リバーサイドホテル
TEL.055-952-2411 FAX.055-952-2455

例会日時 毎週火曜日 12:30～13:30

プログラム

12月 4日 通常例会
12月 11日 夜間例会(家族忘年会)
12月 18日 通常例会、理事会
12月 25日 祝日週休会

クラブ会報委員会

委員長 高橋 健 副委員長 橘 哲夫
委員 高梨 芳高 飯田 互 梨本 幸博
植松 恒裕
本号担当 高橋 健

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- I. 真 実 か ど う か
- II. み ん な に 公 平 か
- III. 好 意 と 友 情 を 深 め る か
- IV. み ん な の た め に な る か ど う か